

第10回独立行政法人都市再生機構業務実績評価有識者会合 議事概要

1. 日時

令和6年6月28日(金) 10:00~12:00

2. 会議形式

WEB会議にて開催

3. 主な出席者

〈外部有識者〉	長 沢 美 智 子	弁護士
	浅 見 泰 司	東京大学大学院工学系研究科教授
	井 上 由 起 子	日本社会事業大学専門職大学院教授
	黒 田 克 司	公認会計士
	中 井 検 裕	東京工業大学名誉教授
〈国土交通省〉	石 坂 聡	住宅局長
	天 河 宏 文	都市局長
〈都市再生機構〉	石 田 優	理事長
	田 中 伸 和	副理事長
	中 村 功	理事長代理

4. 議事

(1) 令和5年度及び第4期中期目標期間における業務実績評価について

①理事長ヒアリング及び自己評価について

②主務大臣評価(案)について

(2) 令和5年度退職役員に係る業績勘案率(案)について

5. 議事概要

(1) 議事(1)①について

- 都市再生機構(以下「機構」という。)の令和5年度及び第4期中期目標期間における業務実績の概要等について、理事長からヒアリングを行った。
- 機構の令和5年度及び第4期中期目標期間における業務実績に係る自己評価について、機構から説明がなされ、外部有識者から質疑応答が行われた。
- 外部有識者から、目標の設定について主に以下の意見があった。
 - ・ 定量目標について、A評価とする際の基準である、達成率120%以上になることが将来的に不可能なものがある。評価の指針になじまないため、今後、定量目標のあり方を再考してもらいたい。

(2) 議事(1)②について

- 機構の令和5年度及び第4期中期目標期間における業務実績に係る大臣評価(案)について、事務局(国土交通省)から説明を行った。
- 外部有識者から、令和5年度におけるI1(2)「災害からの復旧・復興支援」に対する評価として、主に以下の意見があった。
 - ・ 平時より、地方公共団体等との復旧・復興に資する関係構築や、「防災研修プログラム」のパッケージ化に取り組んでいる点について、高く評価したい。
- 外部有識者から、令和5年度及び第4期中期目標期間におけるI1(3)「都市開発の海外展開支援」に対する評価として、主に以下の意見があった。
 - ・ 令和5年度において、機構が日本企業の海外展開支援を行うために進出した国で、機構の取組が評価され、横展開されている点について、高く評価したい。

- ・コロナ禍であったことや、難易度が高い事項であることも踏まえ、第4期中期目標期間を通じて、定量目標の達成率が120%を超えたことについて、高く評価したい。
 - ・日本企業の海外展開といった実績に結びついていない現段階で、A評価をつけるのは難しいのではないか。
 - ・日本企業の海外展開等の成果を上げた際には、取組の時点が異なる等の別の観点から評価を下げることなく、A評価とすべきではないか。
- このほか、外部有識者から、評価の方法について主に以下の意見があった。
- ・成果が出るまでの下準備について評価しないのは、フェアではない。成果が出るまでの取組についても、評価する仕組みがあるべき。
 - ・難易度が高い項目については、評価を一段階引き上げることにについて考慮することとされているが、その具体的な考え方が明確でないため、ルールを確立したほうがよい。

以 上